

教職員の「学びの拠点」を目指して

県立総合教育センター 所長 あおき たかお 青木 孝夫



令和3年度、皆様には新しい希望に燃えて、毎日充実した日々をお過ごしのことと思います。

さて、我が国と子供たちの将来に期待し学習指導要領が改訂されましたが、その未来が今始まっています。また、昨年度から続く新型コロナウイルス感染症対策においては、学校の大きな変化の中でも、改めてICT教育の重要性を実感しました。県立総合教育センター（以下、センター）としましては、如何なる状況であっても学びを充実させるため、昨年同様所員の熱意と協力により、教職員を全力でサポートしてまいります。

センターでは、児童生徒の確かな学力と自立する力の育成を目指し、教職員の「学びの拠点」として、教科指導・生徒指導・学級経営における指導力の向上を図ることを運営コンセプトに据え、研究・開発、研修、教育相談等の事業を展開しています。

今年度はプロジェクターやタブレットなどの情報機器を全面的に更新いたしました。また、江南支所においても広大な敷地をカバーするWi-Fi環境が整備されています。さらに、教育資料室には約17万冊の質量とも充実した教育関連書籍が所蔵されており、県内の全ての公立図書館からでもセンター教育資料室の本を利用することができます。

より一層整備された施設等をより多くの教職員に大いに活用していただきたいと思います。

ICT環境を最大限活用した授業の一層の推進を

文部科学省では、「GIGAスクールネットワーク構想」において「日常的にICTを活用できる（指導）体制」を通じて、個別最適化された学びの実現を目指しています。それに応じて、昨年度内にはほぼ全ての小中学校で一人一台タブレットなどの情報機器が整備され、県立学校でも高速大容量のBYOD回線を導入しました。

昨年度、センターにおいて実施した調査では、年齢の若い教職員を中心に授業動画の作成やICT活用を積極的に行っていました。しかし、一方で、ICT機器の使用法に戸惑いを覚える教員も一定数いることがわかりました。

センターでは、教職員がスキルに応じ、日々の授業でICTを活用した学習活動を支援するため作成した「ICT活用レシピ」、「ICT活用事例集」等を使った研修会も随時実施してまいります。また、コロナ禍において、スピード感を持ち、県民の期待に応えるため、オンライン学習等の早期実現やタブレット端末の効果的な活用など、学校の求めに応じ様々な場面を想定した「要請研修」や相談も行っておりますので、活用していただきたいと思います。

今後も引き続き、ICT環境を最大限活用した授業が展開できるよう指導法や教員研修の方法を新たに開発してまいります。

外部専門機関と連携した授業づくりに期待を

センターでは民間企業等が有する知見や技術等を業務に取り入れる仕組みとして、官民連携プラットフォーム事業「次世代の学び創造プロジェクト（通称『まなプロ』）」を一昨年度より実施しております。株式会社ストリートスマートとの連携によるGoogle Workspace for Educationを活用した授業づくりやリコージャパン株式会社提案による遠隔学習の研究を協働して行いました。教育と企業等のプロフェッショナル同志が協力して、教職員のための新たな学びの拠点づくりに期待が集まっています。

また、今年度4月にはセンター内にある「JICA地球ひろば」の展示を全面リニューアルいたしました。SDGsを取り入れた授業づくりのヒントなどが展示されていますので来所された際はぜひ御覧ください。さらに連携協定を結びました島根県教育センターとも教職員研修の評価などについて合同研究を進めてまいります。センターは39の外部専門機関と連携しており、これらの連携事業を通して最先端の研究や知見に基づく学習・研修モデルを構築し、教職員の学びを力強く支援してまいります。

「埼玉教育」で教育実践の一層の充実を

本誌「埼玉教育」は、昭和23年度に発行し、本年度で73周年を迎えました。「埼玉教育」は県内の教職員の優れた実践やすぐに役立つ教育活動を数多く掲載しております。また教育法規や国・県の通知や通達などの解説、県教育委員会の取組や今後の方向性なども特集するなど、「教職員のための教育情報誌」として、さらなる誌面の充実を図ってまいります。ぜひ皆様のお手元に置いて日々の教育実践の糧にいただければと思います。

グローバル化と多様性の時代にあって教育の果たす役割は一層重要になっております。その中で、元気な教職員の「学びの拠点」としてセンターに課せられた使命は誠に大きいものがあります。センターでは、今年度も新型コロナウイルス感染症防止のために、様々な制約の中で最善を尽くされている埼玉教育関係者の皆様に支援するとともに、子供たちの未来に向けた教育の取組を一層推進してまいりますので、皆様の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。